

DEPARTMENT OF THE TREASURY
WASHINGTON, D.C.

OFFICE OF FOREIGN ASSETS CONTROL

Venezuela Sanctions Regulations
31 CFR part 591

GENERAL LICENSE NO. 44A

Authorizing the Wind Down of Transactions Related to Oil or Gas Sector Operations in
Venezuela

(a) Except as provided in paragraph (b) of this general license, all transactions prohibited by the Venezuela Sanctions Regulations, 31 CFR part 591 (the VSR), including transactions involving Petróleos de Venezuela, S.A. (PdVSA) or any entity in which PdVSA owns, directly or indirectly, a 50 percent or greater interest (collectively, “PdVSA Entities”), that are ordinarily incident and necessary to the wind down of any transaction related to oil or gas sector operations in Venezuela previously authorized by Venezuela General License 44 are authorized through 12:01 a.m. eastern daylight time May 31, 2024.

(写真) OFAC “OFAC ベネズエラ石油・ガス産業への制裁ライセンスを更新”

2024年4月17日（水曜）

政 治

- 「[ロサレス氏 統一プラットフォームと協議](#)
[～MCM とロサレス氏の関係 更に悪化か～](#)」
- 「[MCM 氏・ロサレス氏不和でマルケス氏浮上?](#)」
- 「[PDVSA-Cripto 汚職犯1名が獄中で死亡](#)」

経 済

- 「[米国政府 制裁ライセンス No.44A を発効](#)
[～ライセンス改悪の影響は年30億ドル?～](#)」
- 「[制裁ライセンス No.44A 発効 与野党のコメント](#)」
- 「[並行レート 1ドルBs40付近まで上昇](#)」
- 「[Petro Roraima 合併相手は農業系の会社](#)」

2024年4月18日（木曜）

政 治

- 「[ロハス記者 マドゥロ政権に拘束される](#)」
- 「[エドムンド・ゴンサレス氏 候補強制辞退?](#)」
- 「[マドゥロ政権 歳入倍増の目標掲げる](#)」

経 済

- 「[PDVSA・Repsol 開発地域拡大で合意](#)
[～Repsol ベネズエラでの開発継続に意欲～](#)」
- 「[ベトナム副首相 5つの協力協定を締結](#)」
- 「[アルゼンチン ベネズエラに初めて食肉輸出](#)」
- 「[ベネズエラからの畜産物輸出を許可](#)」
- 「[OVF 24年のGDP成長率は2%増](#)」

2024年4月17日（水曜）

政治

「ロサレス氏 統一プラットフォームと協議
～MCM とロサレス氏の関係 更に悪化か～」

4月17日 「統一プラットフォーム (PUD)」は、「新時代党 (UNT)」から出馬したマニエル・ロサレス氏と協議を行った。

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.1051](#)」で、野党統一候補のマリア・コリナ・マチャド氏 (MCM) とマニエル・ロサレス氏とヘラルド・ブライ氏との3者協議が決定したとの記事を紹介したが、現時点で MCM 氏とロサレス氏の直接協議は行われていない。

ロサレス氏は、MCM 氏が党首を務める「Vente Venezuela」について、「選挙による政権交代を信じておらず、彼らは選挙ボイコットと暴力を信じている」と発言。

この発言を受けて「Vente Venezuela」は声明を発表。「ロサレス氏の主張は、マドゥロ政権と同じもので極めて遺憾である」とし、ロサレス氏を批判した。この一件が原因で協議が難航しているのかもしれない。



(写真) @unidadvenezuela

「MCM 氏・ロサレス氏不和でマルケス氏浮上？」

前述の通り、MCM 氏とロサレス氏の関係が悪化する中、野党統一候補として名前が挙がり始めている人物がいる。「Centarados」のエンリケ・マルケス氏だ（[「ウィークリーレポート No.348」](#)）。

4月17日 PUD はエンリケ・マルケス氏との協議を行った。

マルケス氏は元々 UNT の幹部。2020年の国会議員選の際に選挙に出るべきと主張していたが、主要野党は選挙ボイコットを決定。意見の不一致から UNT を除名された。

その後、21年に「選挙管理委員会 (CNE)」役員に就任。同年に主要野党は選挙ボイコット方針を停止し、全国州知事・市長選に参戦した。

過去、政治的な相違があったことは間違いないが、マルケス氏は古参の野党政治家であり、UNT はもちろん主要野党との関係も強い。

ロサレス氏ほど MCM 氏との関係は悪化しておらず、MCM 氏が支持を表明しやすいところが評価される可能性がある。



(写真) @unidadvenezuela

「PDVSA-Cripto 汚職犯1名が獄中で死亡」

4月17日 タレク・ウィリアム・サアブ検事総長は、PDVSAの原油取引を巡る汚職事件「PDVSA-Cripto」に関与したとして逮捕された Marino Lugo 氏（軍人大佐）が刑務所で自殺したと発表した。首吊り自殺だったという。

本件について、Eligio Rojas 記者は自身のソーシャルメディアアカウントに「軍人警察（Dgcim）が Lugo 大佐に尋問を行っていた」と投稿。拷問死の可能性を示唆している。

一方で、Lugo 大佐は自身が犯罪に関与したことを自白しており、「デジタル通貨監督局（Sunacrip）」のジョセリット・ラミレス局長に3億ドルを送金したことを認めていたという。

また、Lugo 大佐は PDVSA の原油収入をデジタル通貨「Petro」に換える役割を担っていたという。

汚職資金の流れを知る最重要人物とも言え、全容が明らかになることを恐れた関係者が Lugo 大佐を暗殺した可能性もあるだろう。



（写真）@ELESPINITO

“拘束中に自殺したとされる Marino Lugo 元大佐”

経 済

「米国政府 制裁ライセンス No.44A を発効
～ライセンス改悪の影響は年30億ドル?～」

4月17日 米国の「外国資産管理局（OFAC）」は、制裁ライセンス No.44A を発効した。

制裁ライセンス No.44 は、ベネズエラの石油・ガス産業への制裁を緩和するためのライセンスで、4月18日が期限だったので、米国政府は同ライセンスについて決断する必要に迫られていた。

要点は「2023年10月に発効した制裁ライセンス No.44 の枠組みでの取引は2024年5月31日までに清算すること」。

つまり、特段の政治的な進展がない限り、5月末に制裁ライセンス No.44 が失効することになる。

ただし、ロイター通信の報道によると「制裁ライセンス No.44 が有効だった期間中に決定されたベネズエラでの新規投資案件は清算対象にはならない」という。

また、「ベネズエラでの事業を継続あるいは新規取引を希望する企業について、申請に応じて OFAC が1件1件精査し、ライセンスを発行する」としている。

現地経済調査会社「Ecoanalitica」のアスドゥルバル・オリベロス氏は、「今回の制裁ライセンス No.44A の発効は、これまでの取引が全て白紙になることを意味しない」と指摘。

「これまで2024年の石油収入を170億ドルと予想していたが、今回の更新を受けて当初の予想を140億ドルに引き下げる」

「制裁ライセンスの変更は30億ドルの収入減少をもたらす。マドゥロ政権の行動を抑制するためには不十分」との見解を示した。

他、石油分野の専門家フランシスコ・モナルディ氏は、石油産業への投資について

「欧州企業に制裁ライセンスが与えられる場合、制裁ライセンス No.44A の発効が停止に与える影響は小さい」と指摘。

また、産油活動について

「産油量に影響を与えるかどうかは、希釈剤の調達にどのくらい影響が出来るかによる」と指摘。

他、原油販売について

「Relaince など大口の原油購入先がライセンスを得られなければ販売に影響する」との見解を示した。

「制裁ライセンス No.44A 発効 与野党のコメント」

米国による制裁ライセンス No.44A の発効は、今後のベネズエラの政治動向に大きな影響を与えることになる。

以下では、制裁ライセンス No.44A の発効に関する、与野党関係者のコメントを紹介したい。

まず、ホルヘ・ロドリゲス国会議長は「マドゥロ政権はバルバドス合意を順守している」と主張。

米国政府は、「マドゥロ政権がバルバドス合意を順守すれば、石油・ガス産業への制裁緩和を維持する」と言及しており、米国政府の約束違反と主張した。

他、デルシー・ロドリゲス副大統領（ホルヘ・ロドリゲス国会議長の妹）は、「制裁緩和の撤回に怒りを感じると同時にバイデン政権の倫理観のなさや愚かさや失笑した」とコメント。

ディオスダート・カベジヨ PSUV 副党首は

「MCM、フリオ・ボルヘス、レオポルド・ロペス、エンリケ・カブリレス、アントニオ・レデスマが米国に制裁の再開を求めた」「制裁があろうとなかろうとベネズエラ国民は前進する」とコメントした。

主要野党は、制裁再開について支持を表明するのが難しいため、基本的にコメントはしていない。

ただし、「行動民主党（AD）」のカルロス・プロスペリ氏が米国の経済制裁再開に苦言を呈し、

「我が国と国民に害を成す制裁に断固として反対する」「制裁を称賛するグループは、愛国者としての資格がない」「右派・左派は関係なく、国民の生活改善のために活動しろ」「キューバは1961年から米国に制裁を科されている。この制裁でキューバが得たものは何か考えるべきだ」との見解を示した。

「並行レート 1ドルBs40付近まで上昇」

並行レートが1ドル40ボリバル付近まで上昇した。

並行レート参照サイト「Monitor Dólar Venezuela」によると、複数の並行レート参照サイトの平均は1ドル39.79ボリバル。

「DolarToday」や「ElDoradoio」などは1ドル40ボリバルを超えている。

為替レートは、外貨と現地通貨の需要と供給で決まる。

中央銀行が両替市場に外貨を供給することで為替レートを維持しているが、石油・ガス産業への制裁再開は外貨収入に悪影響を与える。外貨供給の減少が予見され、今後は為替レートがボリバル安に推移する可能性が高まりそうだ。



(写真) Monitor Dólar Venezuela

「Petro Roraima 合併相手は農業系の会社」

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.1051](#)」にて、与党国会が PDVSA との合併会社「Petro Roraima」の設立を承認したとの記事を紹介した。

当時、合併相手が分からなかったが、どうやら「Grupo JHS」という企業のような。

「Grupo JHS」は、Jorge Silva 氏を社長とする養鶏・養豚・動物飼料などの生産会社で 1000 人超の雇用を抱える会社だという。他、Silva 氏はベネズエラのサッカーチーム「Deportivo Tachira」のオーナーでもあるという。

「Petro Roraima」は、アンソアテギ州で 2024 年末までに産油量を日量 4.5 万バレル、今後 3 年に日量 12 万バレルまで引き上げることを目標にしているという。

2024年4月18日（木曜）

政治

「ロハス記者 マドゥロ政権に拘束される」

3月25日 マドゥロ大統領の暗殺未遂事件が起きた。検察庁によると、この事件で逮捕された3名のうち2名は Vente Venezuela の関係者。

サブ検事総長は、この2名が Carlos Julio Rojas 記者から殺害指示を受けたという証言動画を公開。更に1人は「Rojas 氏は MCM 氏から指示を受けていた」と証言している（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1051](#)」）

4月18日 「ベネズエラ全国記者クラブ (CNP)」は、Carlos Julio Rojas 記者が逮捕され、現在は SEBIN の施設「Helicoide」に収容されていると発表。

また、Rojas 氏は裁判を受けることになるが、Rojas 氏が信頼している弁護士の弁護を受けることが出来ておらず、健康状態も確認できないと訴えた。



(写真) Maduradas “拘束された Rojas 記者”

「エドムンド・ゴンサレス氏 候補強制辞退？」

政治評論家のニックメル・エバンス氏は、「野党統一連合 (MUD)」が推薦しているエドムンド・ゴンサレス氏に出馬辞退の圧力がかかっていると訴えた。

エバンス氏は自身のソーシャルメディアアカウントで「警告！今、MUD が推薦したエドムンド・ゴンサレス氏を辞退させるオペレーションが動いている」「エドムンド・ゴンサレス氏は、PUD を構成する7つの政党から支持を受けており、現状を維持することもできる」と投稿した。

基本的にエドムンド・ゴンサレス氏は、MUD が統一候補を決めるまで MUD の推薦候補の枠を埋めている暫定候補とされている。

実際に選挙活動は一切しておらず、メディアで政治について発言をした形跡もない。

「マドゥロ政権 歳入倍増の目標掲げる」

4月18日 マドゥロ大統領は、公務員の賃金を引き上げるために歳入を倍増させるとの目標を発表。そのために税金などを引き上げるとした。

ただし、具体的にどの税金をどの程度引き上げるのかなど具体的なことは言及しなかった。

ベネズエラの最低賃金は月額130ボリバル。

食事補助や経済戦争補助など給料以外の支払いを引き上げることで実質収入は増えているが、最低賃金は2022年3月から約2年間、一度も更新されていない。

経 済

「PDVSA・Repsol 開発地域拡大で合意

～Repsol ベネズエラでの開発継続に意欲～

4月17日 PDVSA と西のエネルギー会社「Repsol」は合併会社「Petroquiquire」の開発区拡張で合意した。

「Petroquiquire」の開発区拡張の署名式には、PDVSA のテジェチェア総裁、CVP のルイス・モリナ社長、Repsol の Carlos De Vicente Bravo 氏（Repsol 特使）、Luis Garcia 氏（Repsol Venezuela 代表）が出席した。

同署名式は、米国が制裁ライセンス No.44A を発効したのと同じ日であり、テジェチェア総裁は

「米国の制裁に関わらず、ベネズエラは世界から投資を受け入れる」「Repsol によるベネズエラでの活動は拡大する。原油だけではなく、ガス分野でも新たなプロジェクトが進むと確信している」と言及した。

23年12月 PDVSA と Repsol は、Petroquiquire の事業再開で合意を交わしていた（「[ベネズエラ・トゥデー No.1002](#)」）。

Carlos De Vicente Bravo 氏は、「我々はベネズエラ事業を継続し、ベネズエラ国民に経済的な利益をもたらすことを約束する。今回の合意を誇りに思い、満足している」とコメントした。

「ベトナム副首相 5つの協力協定を締結」

4月18日 ベトナムの Tran Luu Quang 副首相がベネズエラを訪問。マドゥロ大統領と面談した。

また、同日「ベネズエラーベトナム・ハイレベル合同委員会」が開催され、5つの協力協定を締結した。

協力協定を締結した分野は、「農業」「通信」「ガス」「石油」だという。

ベトナムは社会主義国というつながりからか、コメの栽培ではマドゥロ政権に技術協力を行うなど、以前からマドゥロ政権と良好な関係にある。

「アルゼンチン ベネズエラに初めて食肉輸出」

「ベネズエラ・アルゼンチン商工会議所（Cavenarg）」の Marcial Méndez 代表は、アルゼンチンからベネズエラに食肉を輸出すると発表した。

アルゼンチンはこれまでベネズエラに牛をそのまま輸出しており、食肉の状態になった肉をベネズエラに輸出するのは今回が初めて。

現在のところ、アルゼンチンの食肉がベネズエラに到着するのは6月の予定だという。

また、Marcial Méndez 代表は、24年5月にはアルゼンチンのブエノスアイレスに Cavenarg の支部が置かれると説明。両国の取引拡大に意欲を示した。

ただし、現在のアルゼンチンとベネズエラの政治関係は最悪に近い。政治関係は経済にも大きな影響を与えるため、両国の取引拡大のリスクになることだろう。

「ベネズエラからの畜産物輸出を許可」

4月18日 マドゥロ大統領は、ベネズエラの畜産品（特にバッファロー、牛肉、やぎ、ひつじ）の輸出を許可する政令に署名した。

これらの動物の輸出および加工肉・冷凍品の輸出も許可されるという。

マドゥロ大統領は輸出プロセスを簡素化するように関係省庁に指示を出し、ベネズエラ畜産品の輸出促進を呼びかけた。

また、畜産品の輸出を支援するため「農業公社」を介して、中小畜産農家を対象に2,200億ボリバル（60.7億ドル）の融資を行うと発表した。

「OVF 24年のGDP成長率は2%増」

「ベネズエラ金融観測所（OVF）」は、ベネズエラの経済専門家らを対象に2024年の経済見通しについてアンケートを実施。その結果を公表した。

2024年のベネズエラのGDP成長率は平均で2.0%増（0～4%の予想あり）。

年末の為替レートは平均で1ドル60ボリバル（50～65までの予想あり）。

インフレ率は平均で年率60%（50～80%の予想あり）だった。

Resultados de la Encuesta de Expectativas Económicas 2024

	Mediana	Rango
	2024	2024
Proyección del tipo de Cambio (Bs/US\$)	60,0	50-65
Proyección tasa de Inflación (%)	60	50-80
Actividad Económica (%)	2	0-4

以上